

# 社会 在パース日本国総領事 平山達夫氏着任

**今年9月にパースに来られ、在パース日本国総領事館第24代総領事に着任された平山達夫氏にお話を伺いました。**

インタビュー日：11月10日 取材協力：在パース日本国総領事館

## —着任され、パースへの最初の印象をお聞かせ下さい。

パースには2009年に出張で半日だけ来ましたが、その時も天気が良くて、良い印象を持って帰りました。今回パース発令を受けて、いろいろな人に挨拶に行きましたが、皆様から西豪州の重要性を指摘されました。同時にパースが大変住みやすい所との助言も受けましたが、全くその通りだと思っています。着任以来、会う人、会う人から暖かな歓迎を受けて感謝しています。ただ、着任直後の9月は思ったより寒かったです。

地元の人が大使館に励ましのローソク、花などを置いていってくれて、その後も義援金や被災地支援チャリティイベントが相次ぎました。世界中で同じことが起きたと聞きましたが、今まで日本が行ってきたことが正しかったと確信した瞬間でした。

東京では、日欧の経済関係やサミット、APECなどの会議の準備を担当した他、2008年から11年初めまで豪州・NZを担当しました。パースに来る直前までは多国間の漁業を担当していました。



## —今までのご活躍してきたお仕事の内容についてお聞かせ頂けますか？

外務省に入省して30年以上経ちますが、その半分は海外勤務です。勤務先は幅広いのですが、米国、アフリカ、香港、ベトナム(ホーチミン)、ニュージーランド、リトアニアに勤務しました。それぞれの勤務先で日本との関係をいかに強化していくかについて頭を悩ませました。一つ印象に残っているのは、2011年の東日本大震災が起きた後で、その時はリトアニアにいたのですが、その当日か

## —在任中の抱負をお聞かせ下さい。

日本と西豪州は、共通の価値観を基に、資源・エネルギーなどの貿易を通じた相互に恩恵のある経済関係を享受し、極めて良好な関係にあります。この良好な関係を少しでも広げ、深めていきたいと考えています。日本と西豪州の交流の歴史も長く、当地での日本への関心は高く、日本を訪れる方も年々増えています。こういった交流をこれからも広げていきたいと思っています。幸いにも、当地では、親日団体や個人が積極的に活動されていることに加え、日本人コミュニティの活動も高く評価されていると思います。こういった方々と協力しながら、日本と西豪州の関係や交流を少しずつでも進めていきたいと思っています。

## —本誌読者へ一言、お願い致します。

西豪州にお住まいの方々や旅行でお出でになった方々、在パース総領事館としては皆様の滞在が少しでも快適なものとなるよう側面的な支援を行いたいと思っています。ビジネスや生活の関係で困ったことがあれば、遠慮なくご相談下さい。もちろん、ご期待に沿えない場合もありますが、共に考えたいと思います。また、パースは比較的安全な所ではありますが、近年どこで何が起こるか分からない状況になっています。安全確保のために十分な注意が必要ですので、皆様におかれでは、当館ないし外務省が発する情報に十分な注意を払って頂ければ幸いです。



### 平山 達夫（ひらやまたつお）総領事 略歴

- 2000年2月 在ニュー・ジーランド日本国大使館 一等書記官
- 2002年8月 在タンザニア日本国大使館 一等書記官
- 2004年8月 在ホーチミン日本国総領事館 首席領事
- 2008年7月 アジア大洋州局大洋州課 課長補佐
- 2011年2月 在リトアニア日本国大使館 参事官
- 2013年8月 経済局経済安全保障課企画官兼漁業室長

